

第6757回 岡山地区QCサークル大会

(小集団改善活動)

開催日時 : 2026年10月23日 (金)
10時00分 ~ 16時30分 (予定)

開催場所 : 山陽新聞社 さん太ホール
(岡山市北区柳町2-1-1)

プログラム

9:15	~	10:00	受付 (現地会場)
10:00	~	10:15	開会挨拶 / オリエンテーション
10:15	~	11:44	Aブロック 事例発表 4件 (休憩含む)
11:47	~	13:10	昼休憩 (昼食はお近くの飲食店をご利用ください)
13:10	~	13:30	Aブロック パネルディスカッション
13:30	~	15:20	Bブロック 事例発表 4件 (休憩含む)
15:20	~	15:40	Bブロック パネルディスカッション
15:40	~	16:05	表彰式
16:05	~	16:10	閉会挨拶

※上記記載の時間が変更になる場合もありますので、ご了承ください

【QCサークル岡山地区 幹事会社紹介】



(株)岡山村田製作所



三菱自動車工業(株)



両備ホールディングス(株)



(株)今仙電機製作所



JFEスチール(株)
西日本製鉄所 倉敷地区

主 催 : QCサークル中国・四国支部 岡山地区

後 援 : QCサークル本部【(一財)日本科学技術連盟内】

発表サークルの紹介(Aブロック)

発表No.101 両備ホールディングス株式会社 両備バスカンパニー 玉野営業所



日本は災害大国です。両備グループでは「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言しており、災害発生時にお客様と社員の命は絶対に守らなければなりません。しかし、バス乗務員は防災意識が低く、災害発生時に命を守るために適切な避難行動をするのが難しいと感じ、QC活動で防災意識の向上に取り組みました。



発表No.102 株式会社プロテリアル 安来工場



圧延ロール購入費削減をテーマに、ロール購入費の低減を目標として改善活動を行いました。本活動では、発注管理による購入数ばらつきの抑制と、ロール寿命延長による購入数削減を2本柱として改善を推進しました。その結果、ロール購入数を63個/月から31.5個/月へ削減し、月額約466万円のコスト低減を達成しました。



発表No.103 ヤンマーアグリ株式会社



コンバイン運転席を支えるキャビンフレームの、塗装直後に見つかる不良（塗装不良）を減らした事例です。不良が多い機種と症状を絞り、原因整理図（特性要因図）と現場確認で根本原因を特定。ほこり、布くず、油残りに対し、養生ビニールの固定、布の変更、洗浄ノズルを細くしてエアークリーニングを行い、不良を50%削減しました。



発表No.104 三菱自動車工業株式会社 水島製作所



ドミネーションサークルが、4000トンプレスラインで頻発していた『スクラップ上型喰い付き』によるロスコスト・ライン停止問題に挑戦。若手とベテランが融合し、金型に「適切な喰い込み量」と「スクラップ変形構造」を導入しました。これにより年間約216万円のコスト削減と安定生産を達成し、チームの知識・技能向上と活性化に貢献した活動事例です。



発表サークルの紹介(Aブロック)

発表No.201 株式会社岡山村田製作所



成形工程の生産性向上を目指し、加工時間が長くなる原因を調査。素材の固着と原材料の水分量が成形重量低下の主要因と突き止め、対策を実施しました。統計的な手法も事務局から学びながら実施し、サークルメンバーのレベルアップを図りました。また、サークルとして関係部門との連携を図るため、協働で改善を進めました。〔



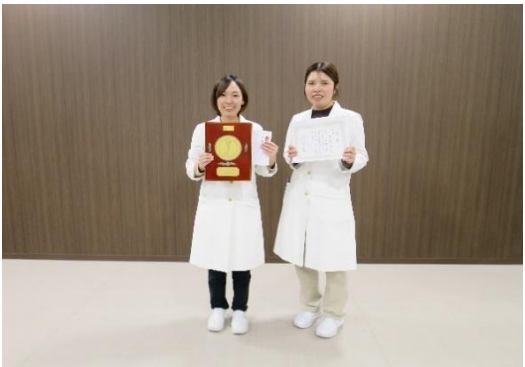
発表No.202 株式会社 シンニチロ 水島事業所



「一滴たりとも漏らさない！」を合言葉に、2コークス炉の上昇管シール水オーバーフロー撲滅へ挑戦。常識では困難とされた空圧式後方噴射ノズルを独自開発し、「洗浄丸」と命名。事後処置から予防管理へ転換し、5カ月連続ゼロを達成。2年半の難課題に、諦めない我ら特攻野郎Aチームが、ついに終止符を打ちました。



発表No.203 社会医療法人 水代会 水島中央病院



食物アレルギーは症状が重篤な場合、アナフィラキシーなど命に関わる場合もあります。食物アレルギーの情報が栄養課にうまく伝わらず、アレルギー食品を提供してしまう事例がなくなりませんでした。伝わらない要因を検討し、確実に食物アレルギーの情報が伝わり安全な食事が提供できるよう改善を図った活動事例です。□



発表No.204 日本キヤリア株式会社 津山事業所



モジュールチラー用熱交換器組立ラインの空気熱交換器の加工ミスにより廃棄されるアルミ材の削減を達成する

